

アスレティックリハビリテーションⅢ

科目ナンバリング SPS-406
選択 2単位

本郷 仁吾

1. 授業の概要(ねらい)

アスレティックトレーナーとして活動する際に必要なアスレティックリハビリテーションの技能を、モデルケースへの対応実習を実施しながら身につける。「ただ実技ができる」だけではなく、自ら考え、アスレティックリハビリテーションに必要な評価や処方ができるようにすることを目指す。

※本授業の履修者は、3年次のスポーツ現場実習Ⅱ・Ⅲ・Ⅳおよび総合実習Ⅰ・Ⅱの単位を取得していることが望ましい。

2. 授業の到達目標

- ・スポーツ傷害の評価を一人でできる。
- ・スポーツ傷害に対するアスレティックリハビリテーションが実践できる。
- ・スポーツ傷害の評価結果をもとにしたアスレティックリハビリテーションのプログラミングができる。
- ・対象者へのアスレティックリハビリテーション指導ができる。

3. 成績評価の方法および基準

筆記試験(70%)実技試験(30%)

4. 教科書・参考文献

参考文献

『日本体育協会公認アスレティックトレーナー教本⑦ アスレティックリハビリテーション』

5. 準備学修の内容

授業内容を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。

6. その他履修上の注意事項

予習を必ず行い、十分な心構えをもって参加すること。

7. 授業内容

- | | |
|--------|-----------------------------------|
| 【第1回】 | オリエンテーション |
| 【第2回】 | アスレティックリハビリテーションとは |
| 【第3回】 | 足関節捻挫の評価とアスレティックリハビリテーション |
| 【第4回】 | 足関節捻挫のアスレティックリハビリテーションの実際 |
| 【第5回】 | 膝関節靭帯損傷の評価とアスレティックリハビリテーション |
| 【第6回】 | 膝関節靭帯損傷のアスレティックリハビリテーションの実際 |
| 【第7回】 | 肩関節脱臼の評価とアスレティックリハビリテーション |
| 【第8回】 | 肩関節脱臼のアスレティックリハビリテーションの実際 |
| 【第9回】 | 腰痛の評価とアスレティックリハビリテーション |
| 【第10回】 | 腰痛のアスレティックリハビリテーションの実際 |
| 【第11回】 | アキレス腱断裂の評価とアスレティックリハビリテーションの実際 |
| 【第12回】 | ハムストリング肉離れの評価とアスレティックリハビリテーションの実際 |
| 【第13回】 | シンスプリントの評価とアスレティックリハビリテーションの実際 |
| 【第14回】 | 傷害予防トレーニングとその実際 |
| 【第15回】 | まとめと実技・筆記試験 |